

NPOほっと 桜の宮ほっと 児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			1・2階の療育室を使い分けている
	2	職員の配置数は適切であるか	○			加配加算を受けられている
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	1階から2階へ移動する際は階段しかない
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			月1回の全体会議とケース会議・日々スタッフ間の情報共有をしている
	5	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			年1回アンケート実施・懇談・支援計画でも要望を確認
	6	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			誠実かつ丁寧に公開するよう努める
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			外部よりコーチングを受ける
適切な 支援の 提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			積極的に研修参加している
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			年間3回十分な間を設けて実施している
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			ポータブルプログラムのチェックリストの活用・インリアルアプローチにてビデオでの分析を採用
	11	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			教室活動での課題と目標設定はもちろん家庭での課題と目標設定や希望を受けて所属集団への支援も行う
	12	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			
	13	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			ケース会議・グループ会議にて行う
	14	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			保護者の要望も組み入れて工夫する
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			小集団活動と個別指導の両側面にて行う
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			療育前の打ち合わせをする
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			終了後に情報共有する

NPOほっと 桜の宮ほっと 児童発達支援自己評価表

関係機関や保護者との連携 関係機関や保護者との連携	18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		日誌を記入
	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		年間3回十分な間を設けて実施している
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		担当者が出席をしている
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		必要に応じて行っている
	22	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援のために、地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		在籍されていれば必要に応じて行っている
	23	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		保護者同伴での活動なので保護者の意向に沿った上で連絡先等を伺い対応している
	24	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保護者の要望を伺った上で必要に応じて対応している
	25	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		保護者の要望を伺った上で必要に応じて対応している
	26	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		協議会・連絡会等に所属し積極的に参加している
	27	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	現在はない。
	28	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		協議会・連絡会等に所属し積極的に参加している
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		その都度、現状を確認しあうよう努める
	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	○		個別指導・学習会等でペアレントトレーニングを行う
	31	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に十分に時間をとって行う
32	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		契約時と定期的なモニタリング時に行う	

NPOほっと 桜の宮ほっと 児童発達支援自己評価表

保護者への説明責任等	33	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか			随時必要に応じて行っている
	34	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		グループ会や学習会の場をピアカウンセリング効果も期待して交流の場としているが、保護者会は設けていない
	35	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		常に心掛けている
	36	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月お便りを発行
	37	個人情報に十分注意しているか	○		契約時に保護者にも説明し十分に注意を心がける
	38	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		常に心掛けている
	39	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		外部の方も参加可能な学習会を設けているが招待する行事は企画していない
	非常時等の対応	40	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	
41		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		定期的に実施、年1回消防署の立会い訓練を依頼している
42		事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		契約時の面接と支援計画のモニタリング時に確認している
43		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		面接時と支援計画モニタリング時に確認している
44		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		毎月の会議にて確認している
45		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		毎年春に職員研修を実施
46		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		必要な場合に限り、保護者と十分に相談した上で計画的に行うようにしているが、親子参加の集団活動なのでこれまで行ったことはない